

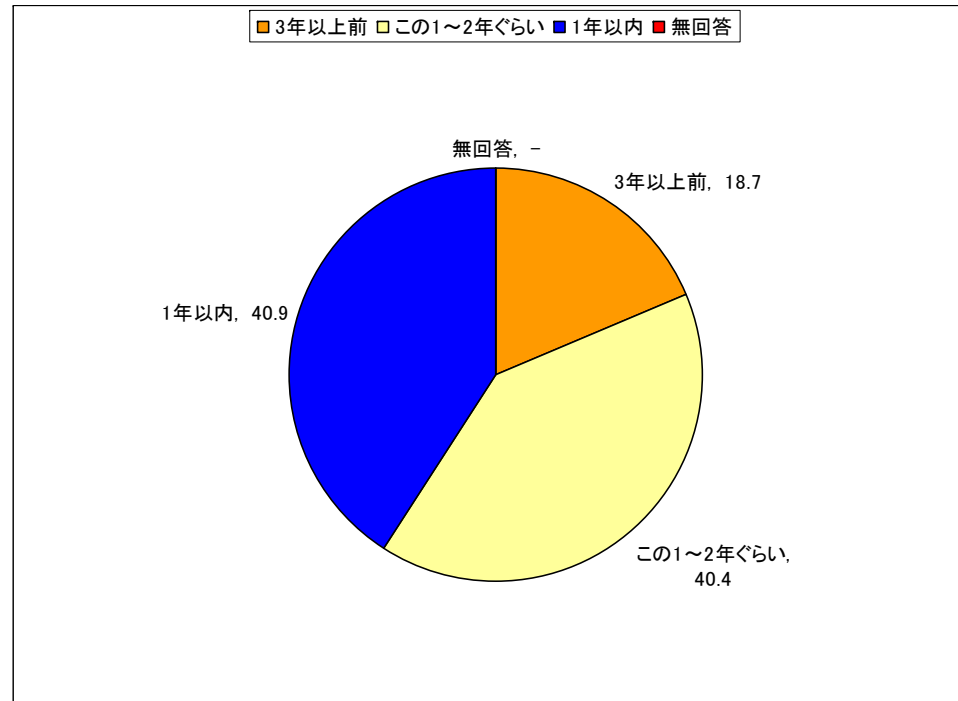
受講生：NCPR認知時期

受講生：あなたは、NCPR講習会についていつごろお知りになりましたか？

◆NCPR講習会の認知時期は、Aコース受講者の方がやや以前から認知していた結果となった。

◆職種別では、小児科医師・産婦人科医師・助産師が比較的以前から認知していた結果となった。

また、救急救命士や学生は、認知後一年以内に受講する傾向が高い。



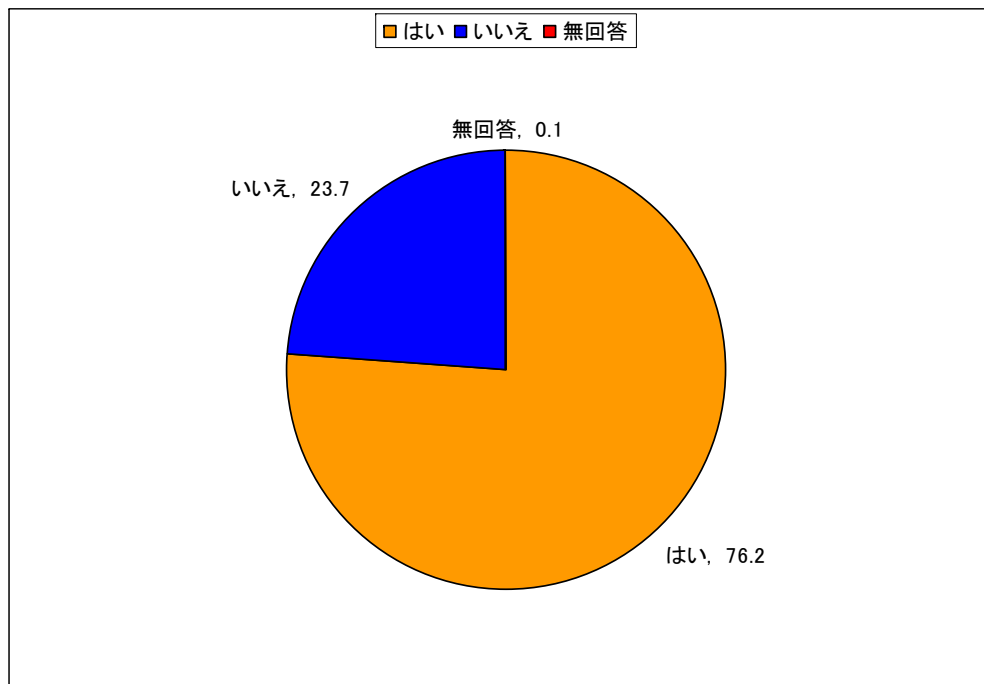
		合計	3年以上前	この1～2年ぐらい	1年以内	無回答
受講生		1830	18.7	40.4	40.9	-
NCPR受講コース	A(専門)コース	1189	22.1	42.1	35.8	-
	B(一般)コース	641	12.3	37.4	50.2	-
職業	小児科医師	129	27.9	31.0	41.1	-
	産婦人科医	170	24.1	42.9	32.9	-
	その他の医師	48	4.2	35.4	60.4	-
	助産師	832	23.8	45.8	30.4	-
	看護師	568	11.1	36.6	52.3	-
	救急救命士	23	-	26.1	73.9	-
	学生	39	2.6	12.8	84.6	-
	その他	19	5.3	42.1	52.6	-

受講生：NCPR講習会の存在を知って、すぐに受講しようと思ったか

受講生：NCPR講習会の存在を知って、すぐに受講しようと思いましたか？

◆NCPR講習会の存在を知ってから、76.2%の人が「すぐに受講しようと思った」と回答。

◆すぐに受講しなかった理由として最も多く挙げられた自由回答は、「近い場所や行ける時間に開催していなかった」ということと、また「希望してもいっぱいになりなかなか受講できなかった」というものであり、受講の必要がないというより、受講したくても受講できなかったという理由が多かった。



		合計	はい	いいえ	無回答
受講生		1830	76.2	23.7	0.1
NCPR受講コース	A(専門)コース	1189	77.3	22.7	-
	B(一般)コース	641	74.3	25.6	0.2
職業	小児科医師	129	79.1	20.9	-
	産婦人科医	170	82.9	17.1	-
	その他の医師	48	89.6	10.4	-
	助産師	832	75.4	24.6	-
	看護師	568	73.9	26.1	-
	救急救命士	23	91.3	8.7	-
	学生	39	66.7	30.8	2.6
	その他	19	73.7	26.3	-

受講生：すぐに受講しようと思った理由

小児科の先生が常勤ではなく、初期蘇生が必要なケースにあたったことがあるため	産科医師
臨床現場でNCPRを落ち着いてできるようになったから	産科医師
臨床ですぐに役立ちそうだから	産科医師
ご案内をいただいたので参加したいと思いました・自院での診療に役立てたいと思った	産科医師
産科医に必要と思われたから	産科医師
NCPRの手技を身につけたい	産科医師
産科医として必須だと思ったから	産科医師
産婦人科で一人で当直をして、現在NICUがない施設のため必要に迫られた	産科医師
実践的なので	産科医師
臨床でしばしば新生児の蘇生に遭遇するから	産科医師
1200分もある病院なのに小児科常勤医が2人しかいないから	産科医師
新生児科医のいない状況で何度か必要なことがあったため	産科医師
分娩時新生児科医師に頼るだけでなく、自ら新生児の蘇生が必要となる機会が多く、対応できるようになるため	産科医師
施設内での共通の認識があると良いと思ったため	小児科医師
助産師対象の研修に役立てるため	小児科医師
病児出生や搬送が多い施設に勤務していたため	小児科医師
標準化された蘇生方法を学びたいと思ったから	小児科医師
ガイドラインが新しくなったので	小児科医師
一人でも多くの赤ちゃんが救えるように	小児科医師
一度受講したが認定を忘れていたため再受講した	小児科医師
インストラクターコース受講のために必要だったから	小児科医師
最新のエビデンスを知りたかったから	小児科医師
将来小児科医として働く際に必ず必要になると思ったため	その他医師
ガイドラインに準じたNCPRを学びたかったため	その他医師
小児科での研修を控えていたため	その他医師
麻酔科で帝王切開に立ち会う機会も多く、また新生児麻酔にも関わる機会もあるため	その他医師
産科麻酔を施行する際、必要な知識技術だと日々実感しているため	その他医師
新生児蘇生はPALSと異なることが分かってきたから	その他医師
麻酔科で市中病院で帝王切開に関与しており、まれに小児科が間に合わず仮死の処置を要することがあるため	その他医師
当院の新生児科医が指導しているから	その他医師
実践ですぐに活用できるため	助産師
助産師であり出生後の児の状態を落ち着いて観察対応できるようになりたいと思った	助産師
助産師として活動していくうえでNCPRを知っていて実践できた方が良いと思ったため。また安全につながりチームワークが良くなるように習得しておきたいと思った。	助産師
新生児蘇生に関する最新の知識と技術を学びたかったため	助産師
新生児蘇生法の知識を活かし働きたいと思ったため	助産師
新生児に対応する中で必ず必要な技術と考えたため	助産師
すぐに会得したいスキルだったから	助産師
以前勤務した病院では定期的な新生児蘇生法の勉強会があったが、現在勤務しているところでは全く勉強会などがないため	助産師
開業助産師でもあり分娩に携わることもあるので蘇生法を習得しようと思った	助産師
講習会を受けることで日常の業務に自信が持てると思ったから	助産師
新生児蘇生に関わる機会が多いので自信をつけたかった	助産師
エビデンス及び手技を学びたかったから	助産師
業務上不可欠だと思った。また、自分の対応に根拠を持ちたいと思った。	助産師
自分の仕事の中で実際に必要なことだから(院内に小児科Drがない)	助産師
助産師就労支援講習会の研修内容にプログラムされていたから(必須であったため)	助産師
専門的な認定取得のため	助産師
Bコースは持っていたがAコースがまだだったので	助産師
分娩に携わる者として母子に責任があるため	助産師
分娩に立ち会う際に、蘇生法を身につけておくことは必要だから	助産師
助産院勤務のため医師がいないので	助産師
新生児の蘇生法で適切に扱われる手順がさまざまあり、基準となるものを学びたかったから	助産師
Bコース受講後、Aコースが必要だと思った	助産師
いざという時にあせらず行動できるようにしたかった	助産師
院長の方針でもありました。スタッフが順次受けていこうと、まず院長が受け、スタッフに教育していました。しかし改訂されたこともあり、きちんとマスターしたかったからです。	助産師
勤務場所で開催される予定があったため。又分娩後や帝王切開後の新生児蘇生において自己学習だけでは自信がなく、詳しく勉強したいと日頃から考えていたため	助産師

仕事をしていくうえで必ず必要だとも感じていました。出産は常に危険なものだと感じています。ハイリスクを伴う妊婦さんに接する機会も多いので。	助産師
自宅出産の介助でプロトコルを知っていたが、具体的に学んでいきたくかったため	助産師
スタンダードな資格になると思ったから	助産師
働いている中で新生児蘇生を実践できる必要性を感じたから	助産師
助産師学生の時にNCPRの講義がおもしろく、また国家試験にも出ているため	助産師
新生児にかかわる機会が多くある。babyキャッチなどで状態が悪い児の時に、NICUDrが到着するまでの間に自分がやらなければならないことをしっかり身につけたかった	助産師
新生児に関わる専門家として必須と強く感じたからです	助産師
蘇生はいつ必要になるか分からないですし、子供の命を左右することになります。日ごろから意識を高めておきたいと思ったからです。	助産師
いつも分娩時にAPの悪い児の蘇生をしているため勉強しておきたかった	助産師
私が実施してきた方法はスタンダードではなくなっていたから	助産師
学生への教育に必要だと思ったから	助産師
新生児出生時の状態把握と悩ましい症状の時の対応について明確にしたい	助産師
仮死で出生する児の症例が何例もあり、新生児蘇生の大切さを知り興味を持った。実際の現場で活かせる内容であると思った。	助産師
産科保障制度にて新生児蘇生の必要性と病院の機能評価的に必須である	助産師
出産を扱う開業助産師には必須の知識技術と思った	助産師
診療所の院長のすすめ(皆で受講していこうという)もあり、受講しやすかった	助産師
臨床で実際に分娩に立ち会い、対応ひとつで新生児の運命をかえてしまうなら、なくてはならない知識だから	助産師
個人病院で働いており、小児科医不在の分娩介助が常です。何かあった時のための自分の知識や技術の向上の必要性を感じています。	助産師
新生児蘇生法について専門的な学んだことがなく、自信がなかった。10年以上も昔、分娩介助一緊急CSで生まれたベビーが出生して啼泣下にもかかわらず状態が急変し、挿管、薬物投与したが死に至った例が忘れられない。どんな力でも生まれたベビーにとって役立てるよう技術向上したかった。	助産師
NCPRを習得し看護実践に役立てようというチーム目標があり自己の知識を増やしたく受講させていただきました	助産師
気管挿管、人工呼吸を必要とする処置に自信がなかったから	助産師
資格として持っておきたかった	助産師
日々の疑問を解決したいと思った	助産師
職場では勉強会等ないのでインターネット等で探していた	助産師
急性期、ハイリスク新生児領域で勤務しているから	看護師
当院のNICUスタッフは全員取得する方向性となっているため	看護師
インストラクターの資格が取得したかったから	看護師
修了認定が受けられ自分の知識にもなるから	看護師
分娩に携わる者として適切な蘇生法をマスターし実践できるようになりたいと思ったため	看護師
仮死状態に立ち会い、小児科Drの指示に初めての経験だったため対応できなかったから	看護師
講習会を受講することで今までの自分の手技を振り返りたかったため	看護師
前回の講習会を病棟のスタッフが受講しており、とても勉強になると話していたため	看護師
新生児を見ていて蘇生法を知らないのはいけないと思ったため	看護師
当病院で成人の蘇生法は学んでいたが新生児蘇生法は学んでいないから	看護師
勤務施設で講習会を開催して下さると知り質問等がしやすいと思ったから	看護師
職場で研修として行われていた	看護師
専門的な知識、技術を身につけたいと思ったから	看護師
産科病棟で2次救急のため必要と感じる時もあり、自分に自信を持ちたかった	看護師
生命に携わるNsとして必須と考える	看護師
病院で積極的に実施しているから	看護師
急変時に的確に動けるようになりたい、命を守る人になりたいため	看護師
今後国際医療救援活動への参加を目指すにあたり、必要な知識と技術を身につけたかったため	看護師
職場でも何例も新生児蘇生法を見て、Drに頼りっぱなしのところがあり、少しでも知識技術を身につけ役に立ち新生児を救いたいと思ったため	看護師
大学の授業単位として必要だったため	学生

※これは自由回答の抜粋です。

受講生：すぐに受講しようと思わなかった理由

当初は従来通りの方法でも問題ないのではないかと考えてしまっていた	産科医師
受講したかったがなかなか一般公募のタイミングが合わなかった	産科医師
1日かかる受講日程が取れなかったため	産科医師
前任地(兵庫県豊岡市)は講習会などない。医療過疎地で、一方京都・大阪・神戸へ行く事も医師の数が少なく、日程調整が難しかった。	産科医師
ある程度できているつもりだったのでわざわざ資格はとらなくても、と思っていたので	産科医師
地域で開催されていなかったため	産科医師
小児科医になったら受講しようと考えたため	小児科医師
新生児が専門でないので	小児科医師
インストラクターを希望していた	小児科医師
実地経験を求められる環境にあったから	小児科医師
NPRのころに受講したため	小児科医師
常に新生児蘇生の現場に立ち会っておりNCPR受講の必要性がなかったから	小児科医師
上司に蘇生法テキストとDVDをもらい、日常業務で実践しているつもりだったから	小児科医師
近くで開催しているのを見つけたことができなかったから	助産師
講習できる参加人数が決まっていたので	助産師
興味がなかった。周囲で講習していなかった。講習会も人数が制限されており参加できなかった。	助産師
周産期センターにて働いていないためあまり必要と感じていなかった	助産師
受講のタイミングを待っていた、身近になかった	助産師
その当時各施設から一人など、自由に参加できなかったため	助産師
耳慣れない言葉で自分に必要なものかどうかよく分からなかったから	助産師
勤務先で人選されなかったこと、新生児蘇生する機会のない部署にいた	助産師
講習会が少なく受講できない、また必要性不足	助産師
身近で開催される情報がなかった	助産師
受講する時間がとれず、又受講希望してもなかなか枠がなくて	助産師
受講場所を自ら探さなければならなかったため	助産師
土日の開催が多く、勤務の都合で休みがとりにくかったから	助産師
NICUでも経験があり、私自身も経験年数が10年以上上っているため後輩を優先した	助産師
現在行っていることであり、あらためて講習の必要性をすぐに感じなかった	助産師
講習会の開催の日時や場所を知る機会がなかった	助産師
時間タイミングがあわなかった。希望者が多かった。	助産師
新生児に対し苦手意識があったから	助産師
セミナーの時間が合わないのとすぐに締切になるため(人数制限)	助産師
ハードルが高いように思っていた(挿管などもあるので)	助産師
受講経験者の評価がまちまち。受講者が職場で生かしているとは思わなかった。	助産師
NCPRIについて理解ができてなかった	助産師
高額なため	助産師
産科救急の行える施設にいたためNICUの医師が常時しており必要ないと考えていました	助産師
受講したいと思っても定員がいっぱいだったり場所が遠方だったため	助産師
テキストを読んだところ、既に習得していた内容だったから	助産師
講習会に参加していいのか、自分は勉強不足ではないか自信がなかった。	助産師
実践経験をつんで講習会に出た方がより理解できると思ったため	助産師

興味はありましたが、講習会の内容やメリットまでは分からなかった	助産師
NCPRIの手技をすでに習得しているため、評価される必要はないと思っていた	助産師
医師が蘇生術を実施すると思っていたから	助産師
特殊な資格だと思った	助産師
希望者が多いためすぐにではなく順番が回ってきてから受講しようと思った	助産師
職場より受講の順番を指定される	助産師
役目からスタッフ全員を受講させてから私が受講しようと考えました	助産師
だいたい習得していたから	看護師
難しそうだったのですぐに受講しようとは思わなかったが必要性は感じていた	看護師
勤務経験が浅く、今の自分には無理だと感じたから	看護師
どこでどのような講習会が行われているか分からなかったため	看護師
どうやってとるか分からなかった	看護師
蘇生についての経験がまだ少ないため	看護師
チャンスがなかった	看護師
テキストを勉強し覚えてから受講したいと思った。覚えるのに時間がかかる。	看護師
助産師でなければ受講できないのかと思った	看護師
勤務施設で開催されたら受講しようと思っていた	看護師
NICUで勤務しているため役立ちたいと思ったのですが、値段が高めなので少し悩みました	看護師
認定料など必要金額が高かったため躊躇した	看護師
近隣の開催がなかったため	看護師
もう少し経験をつんだり勉強してからにしようと思った	看護師
以前は新生児と関わることがほとんどなかったので今回NICUで働くことになりそれから受講しようと思った	看護師
病棟内で新生児蘇生についての学習会があったため	看護師
テストがあると聞き合格できるか不安でした	看護師
AHA主催のBLS、PALSを先に習得したかったため。また県内でのNCPRI講習会が少なく受講の機会がなかったため。	看護師
受講の仕方方法も分からなかったから	看護師
NICUへ配属して直後に知ったため、新生児に対する知識不足があり合格するか不安だったから	看護師
他のスタッフに勧められ考えるようになった	看護師
地元での開催が少ない	看護師
受講料が高かったから	看護師
テキスト代や受講料が高いため	看護師
必要であるという認識がなかったうえに、自分にとってハードルの高そうなイメージがあった。	看護師
講習会の職場から行く人の人数が少なく認定と聞くと緊張し難いだろうなと気が進まなかった	看護師
勤務上時間がとれない	救急救命士
病院内での受講希望しか受け付けていない病院が多かったから	学生
学生でも受講できるのか分からなかったから	学生
院内で受講順番待ちだった	その他

※これは自由回答の抜粋です。

受講生：NCPR受講理由

受講生：あなたがNCPRを受講しようと思った理由は何ですか？（複数回答）

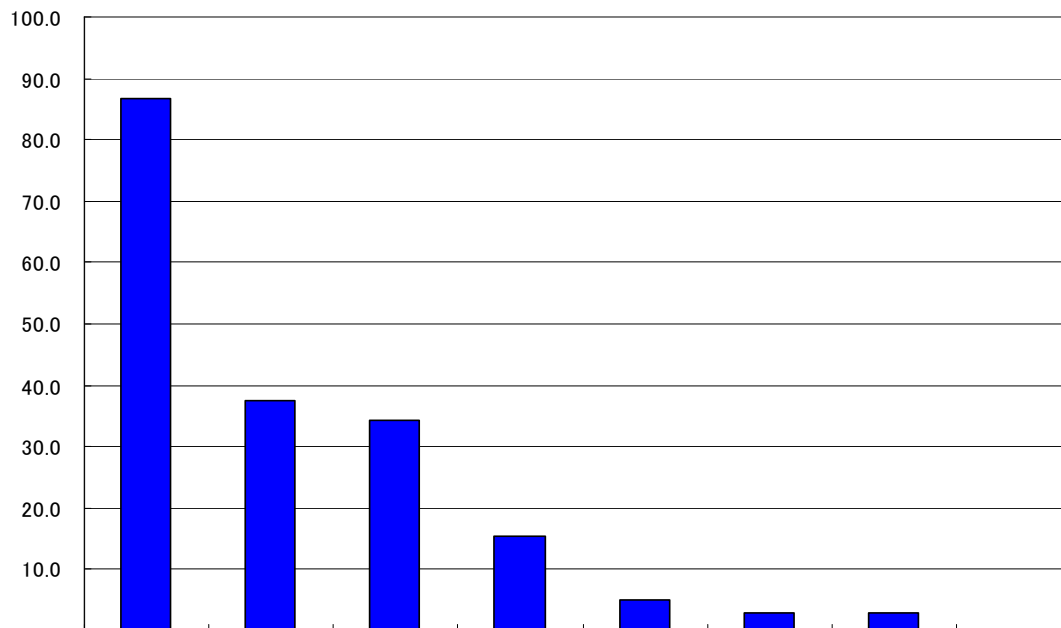
■ 受講生

◆複数回答のため、圧倒的に「職務上必要だと感じたから」が高い結果となった。

◆どの職種でも「職務上必要だと感じたから」がもちろん一番高いが、その他の医師と看護師は他の職種に比べると、「勤務施設で講習会が開催されたから」の回答率が比較的高かった。

◆学生は他の職種と違い圧倒的に「学校内で講習会が開催されたから」の回答が高く、カリキュラムとして組み込まれているからであろう。

◆「ホームページ等で募集を見たから」については残念ながら、公募を行っている講習会が圧倒的に少ない現状のため低い回答となった。



	合計	職務上必要だと感じたから	職場の上司・同僚にすすめられた	勤務施設・学校内で講習会が開催されたから	受講経験者にすすめられて	NCPRのインストラクターにすすめられて	ホームページ等で募集を見たから	その他	無回答	
受講生	1830	86.6	37.5	34.4	15.5	5.0	2.8	3.0	-	
NCPR受講コース	A(専門)コース	1189	88.0	36.5	33.9	16.0	5.8	3.4	3.1	-
	B(一般)コース	641	84.1	39.3	35.3	14.5	3.4	1.7	2.7	-
職業	小児科医師	129	93.8	31.8	22.5	13.2	12.4	1.6	0.8	-
	産婦人科医	170	93.5	26.5	28.8	11.2	5.3	4.1	2.4	-
	その他の医師	48	79.2	37.5	47.9	8.3	12.5	4.2	-	-
	助産師	832	90.3	36.9	29.7	15.4	4.0	4.0	4.3	-
	看護師	568	82.6	46.3	41.5	19.0	4.6	0.7	1.2	-
	救急救命士	23	82.6	4.3	13.0	-	-	4.3	8.7	-
	学生	39	17.9	2.6	89.7	10.3	2.6	2.6	10.3	-
その他	19	100.0	47.4	36.8	15.8	-	-	-	-	

受講生：NCPR受講前に期待したこと(自由回答)

受講生：あなたは、NCPRを受講する際、何を期待しましたか？(自由回答)

最新で標準な知識と技術の習得	産科医師
分娩直後の新生児の即時対応の習得	産科医師
インストラクターの技術を見学したかった	産科医師
いざという時に自然に体が動くように実技を中心とした講習	産科医師
周産期専門医として知っておくべきことを知ることができる・最低限でもすべきことをできるようになる	産科医師
シュミレーションの充実	産科医師
インストラクターの指導で実際に経験したことや失敗談など	産科医師
NCPRが勤務施設で違いがないことを期待した	産科医師
実習・機器の実際の使用方法を知りたかった	産科医師
基本の再確認と日常診療の中での蘇生に関する疑問の解決	産科医師
蘇生チームとして動けるようになること	産科医師
気管内挿管の手技の再確認と確実な手技の習得	産科医師
新生児蘇生で日頃から感じてた不安の解消	産科医師
実践的なトレーニング	小児科医師
新生児蘇生法の習得、受講を終えることで実際の現場で手が動くようになること	小児科医師
蘇生法の具体的なテクニックの習得(挿管も含めて)	小児科医師
資格が取れること	小児科医師
教えられるようになりたかった	小児科医師
PALSのような専門性	小児科医師
シナリオのシュミレーションによる学習	小児科医師
評価の方法と適切な介入	小児科医師
実技でいろんな症例を学びたかった	小児科医師
人に正確に技術を伝えられること	小児科医師
インストラクターがどのようにレクチャー・指導を行っているのか	小児科医師
練習することで実際に活用できること	小児科医師
最新の蘇生法、又その手技のバックグラウンドやエビデンス	小児科医師
実際に蘇生が必要な新生児に直面した時に備えてのシュミレーション・ガイドラインの内容熟知	小児科医師
自己流になりがちな新生児蘇生法を見直し修正すること	小児科医師
新生児の蘇生に対して積極的に携わることができるようになること	その他医師
ACLS、BLSとの違いをしっかりと認識すること	その他医師
分かりやすい説明と実際の手技の習得	その他医師
標準的なアルゴリズムの習得・モデルを用いた練習	その他医師
CPAPを使ったことがないので実際に見たり使ってみてみたかった	助産師
Drが来るまでの初期の蘇生ができるようになること。蘇生に必要な物品が分かり揃えられるようになること	助産師
ILCORのガイドラインに沿ったNCPRトレーニングが効果をもたらすこと	助産師
新しい知識技術、周産期医療チームの連携	助産師
新しく改正された内容の確認と新生児蘇生を行っての新生児の評価について	助産師
いろんな事例でのシュミレーション	助産師
インストラクターの教え方が上手かどうか	助産師
インストラクターの指導のもと、十分な演習ができること	助産師
確実な技術を習得すること(バッグマスクと胸骨圧迫)	助産師
急変時に備えて冷静に判断かつ対応できる手技	助産師

現場での臨場感のあるリアルな実技実習	助産師
合格して認定を取ること	助産師
実際に演習することでイメージトレーニングになり、実践できることを期待した	助産師
実際のイメージができるような講習	助産師
実習が即、使える自信につながる内容であること	助産師
シュミレーションでの実践・講義が事務的にならないか	助産師
新生児蘇生の基本手技を確認しトレーニングしたいと思った	助産師
他院でおこなわれている蘇生の実際を見ることができると	助産師
チームプレイであうんの呼吸で動けるようになること	助産師
知識・手技の習得。そしてスタッフへの伝達、指導ができるようになること。	助産師
知識だけでなく蘇生の手技を確実に取得できること	助産師
テキストにある新生児仮死は、バッグマスクを用いた人工呼吸だけで90%以上が蘇生できるということ、それならば最低限その技術を習得したいと強く思いました。	助産師
念入りなシュミレーション実習があること	助産師
バギング・手技の習得	助産師
バッグの使い方とO2の使用について	助産師
マスクバッグ・胸骨圧迫の手技はマスターしたかった	助産師
CPAP、人工呼吸の実際、バッグの使い分け	看護師
NCPRのスペシャリストによる講義・最新の情報	看護師
NCPRを行うことの意味付け、器具の正しい使用方法の再確認	看護師
異常の早期発見や観察ポイントについて	看護師
技術の習得と児受けの不安解消につながり自信がもてるかなと	看護師
緊急時のシュミレーションをしたいと思った	看護師
経験あるインストラクターの方の実技	看護師
現場に活かせる実践力	看護師
細やかな指導	看護師
資格取得	看護師
施設間の違いがなく全国的に統一されていること	看護師
実技の内容の濃さ	看護師
実習で体験できること	看護師
修了認定を取得しいずれはインストラクター資格を目指したいと思った	看護師
手技についての細かいアドバイス	看護師
シュミレーション演習	看護師
専門のスタッフに手技をみてもらえる・アドバイスしてもらえるので自信につながる	看護師
挿管介助だけでなく手技も教えてもらえること	看護師
蘇生処置時のエビデンスを学ぶこと、NCPRでトレーニングしたという自信	看護師
テキストの内容だけでは理解できないところを実際にDrに質問したり実習することで自分が何か分らず何ができないのかを明確にしたい。それが可能になることを望んだ。	看護師
道具の使い方・コツ	看護師
資格を取得することで将来役に立つと思う	学生
自習ではわからないことを学べる	学生
実際に動くことによって蘇生の流れを理解すること	学生
成人、小児、乳児のCPRIは学習の機会が多いが新生児のCPRIは初めて学習するのでまずは全体的な知識と技術を習得したかった	救急救命士
病院内での処置のみならず、救急現場で出来る処置・判断について知る事	救急救命士
3:1法と胸骨圧迫の正しい方法	救急救命士
新生児のケア、救急隊としてどのように対応すればよいかを聞くこと	救急救命士

※これは自由回答の抜粋です。